

マーケットの動き（2024年9月16日～9月20日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。
週前半はFOMC（米国連邦公開市場委員会）を控え一進一退となりました。18日のFOMCにて0.5%の利下げの発表がされると一時的に140円台半ばまで円高ドル安の動きが進みましたが、今後の利下げペースは市場期待に比べ緩やかになるとの見方から、米国長期金利の上昇に合わせて、円売りドル買いが優勢となりました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2024年9月）

円に対して米ドルはレンジ内で強含み、ユーロはレンジ内で推移

米ドル：7月中旬以降の円高ドル安の動きの中で、日米金融政策の方向性の違いについては相当程度織り込まれたとみられます。ドルは円に対して、調整一巡後はレンジ内で強含みで推移するとみています。

ユーロ：日欧の金融政策の方向性の違いについては相当程度織り込まれたとみられ、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。ただし、ユーロ圏景気の回復が緩慢なことはユーロ安要因とみています。

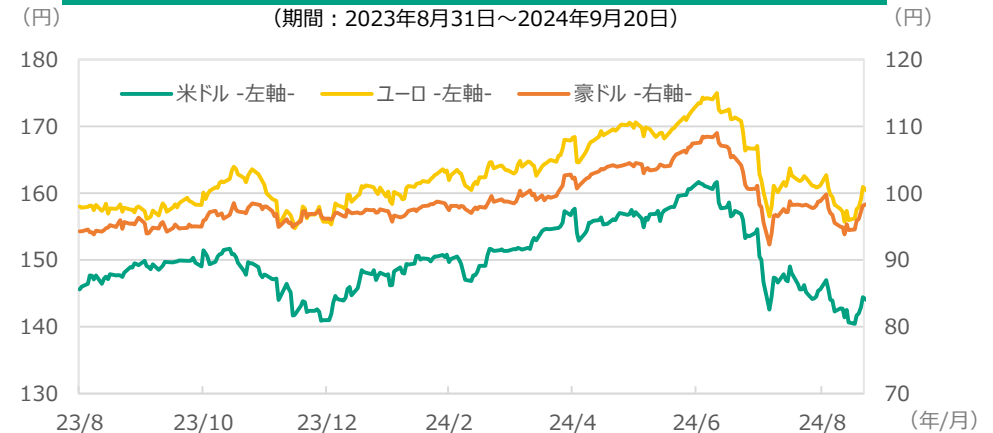
	9月20日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	144.44	3.79	▲1.17	▲7.23	▲3.26
ユーロ/円	160.94	4.98	▲0.85	▲3.67	2.62

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202409_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>